

事業所名: 児童発達支援・放課後等デイサービス ekubo Dacco

支援プログラム

作成日: 2025 年 4 月 14 日

法人理念	一人一人が世の中に役立つリーダーになれ							
支援方針	児童一人ひとりの発達や特性を丁寧に把握し、安心できる環境の中で生活力や自己肯定感を育めるよう、保育士を中心とした専門職がチームで支援します。遊びと学びをバランスよく取り入れた活動を通じて、保護者・地域・関係機関と連携しながら切れ目のない支援体制を構築します。							
営業時間	10 時	00 分	から	17 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	生活の中で必要となる基本的な生活習慣（排泄・食事・清潔など）の獲得に向けて、個別の特性に配慮した丁寧な支援を行います。特に食事・おやつ場面では、安全かつ楽しい時間となるよう、嚥下や感覚特性を踏まえて、姿勢・食具・食形態にも専門的な配慮をしています。						
	運動・感覚	屋内外での全身を使った運動や手指を使う制作活動を多く取り入れ、感覚統合を促しながら身体の発達と心の安定を図ります。児童それぞれの身体的特徴や感覚特性に合わせ、無理なく楽しめる活動内容を工夫しています。						
	認知・行動	視覚支援や構造化された環境設定を通じて、見通しを持って安心して行動できるよう支援します。活動を通じて、記憶・注意・推論といった認知機能の向上を図るとともに、不安や混乱が生じやすい場面では職員が丁寧に寄り添い、安定した行動が取れるよう支援します。						
	言語コミュニケーション	絵本や絵カード、制作などの活動を通じて、ことばの理解と表出の力を育てます。発語が乏しい児童にも、視線・指差し・表情といった非言語的コミュニケーションを受け止め、発信の喜びを感じられるよう根気強く関わります。						
	人間関係社会性	小集団での遊びやごっこ遊び、制作活動などを通じて、他者との関わりや社会的ルールの理解を支援します。順番・協力・感情のやりとりなど、日常生活の中で自然に社会性を学べるよう、保育士が丁寧にサポートします。						
家族支援	保護者の思いや悩みに寄り添い、対面・オンライン・居宅訪問など多様な形で相談支援を行います。障がい児の保護者経験を持つ職員が在籍しており、共感的かつ実践的な支援を提供し、必要に応じて家族会や講座を通じて家庭内支援の充実にも努めています。			移行支援	就学や進学などのライフステージ移行に際して、保護者・就学先・関係機関と連携し、児童の情報共有や環境調整を行います。特に就学前には、相談会への同行や引継資料の作成を行い、安心して次のステージに進めるよう支援しています。			
地域支援・地域連携	保育所・学校・相談支援事業所・他事業所などと密な連携を図り、児童を中心とした包括的な支援を行います。会議や情報交換を通じて支援の一貫性を保ち、地域行事や研修等への参加を通じて地域とのつながりも大切にしています。			職員の質の向上	毎月の事例検討会や制度勉強会に加え、発達障がい、医療的ケア、感覚統合などに関する外部研修にも積極的に参加しています。保育士を中心に支援力と専門性を高め、質の高いチーム支援を継続的に追求しています。			
主な行事等	季節行事や、制作活動、食育イベントなどを通じて、生活・文化への関心や感覚体験を育みます。保護者を招いた参加型行事も取り入れ、家庭と施設が一体となった支援を大切にしています。							